

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回は旧臘12月8日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 2度目の緊急事態宣言発令の中、野菜・果物等の店頭POP表示Pjt. は進捗しています

1月7日、2度目となる緊急事態宣言発令を受け、弊協会では1月8日～2月7日の間、①テレワーク推進による出勤の削減、②委員会、研究会、部会等各種会合開催のWEB化、③後援名義使用願い・会員入会等各種手続きのWEB化などの対策実施に踏み切っています。

弊協会にとって当面の大きな課題は、内閣官房「新技術等実証計画（野菜等の表示に関する自主マニュアル作成）」プロジェクトの推進が8月末の期限を控えて、待ったなしのスケジュールであることです。このため、推進を担う「野菜で健康推進部会」では、内閣官房と緊密な連絡を取り、「第三者委員会」第2回会合を2月1日（月）13:00～15:00に開催し、進捗の報告を行うとともに、参加企業・店舗の公募手続き、参加企業・店舗に対する勉強会の開催、店舗における実証実験準備を粛々と進める必要があります。

とりわけ、勉強会は店舗の売場責任者を含めた実務家の方々に、3種類の運営マニュアル（POP運用・POP具体的表示マニュアル・POPエビデンス資料）をお渡しし、実験の意義をご理解頂くとともに、野菜・果物の品目ごとの具体的表示の仕方、お客様および保健所等の関係者への対処の仕方等の共通認識を持って頂くもので、今回の実証実験推進に当たって要となるプロセスです。

部会では既に部会員企業を対象とした勉強会（12月17日）を試行し、その模様を動画撮影して教材準備を整えておりますが、緊急事態宣言発令下において、予定されていたリアルな勉強会が動画教材を使ったバーチャル勉強会に変更される局面も増加することが予想されます。

なお、次回部会は1月19日（火）開催、実証実験Pjt. の進捗状況の共有を図るとともにムック本Pjt.、大阪万博Pjt. 等の進捗に関しても各担当者からの報告を予定しています。

2. いくつかの新部会の立ち上げ準備が進行中です。

ニュースリリースNo.56で「歯周病対応検討部会」の仮称でご報告した部会は、街づくりに関連した企業の参加を見込み「健口街づくり推進部会」と仮称を変更して1月18日（月）14:00～、第3回目の設立準備会を開催します。また、医と農の連携を医農科学（登録商標：㈱アグリゲーション&アグリ）というキーワードで推進しようと図る「医農科学部会」（仮称）は、上原征彦副会長を中心に部会設立を準備しています。

3. ヘルスケア関連のいくつかの団体から弊協会への連携要請が来ています。

- (1) インターペット2021への協賛要請：(一社) ペットフード協会殿、(一社) 日本ペット用品工業会殿、メッセフランクフルト・ジャパン㈱殿は、本年4月1日～4日の4日間、東京ビッグサイトにおいて上記イベント開催を計画しており、弊協会は例年通り、協賛名義使用の要請を受け、これを承諾しました。（インターペット2020はコロナのため開催中止）
- (2) (一社) 次世代FVC研究所よりセミナー共催の要請：農産物を生産する農業事業者と消費者を価値の連鎖（バリューチェーン）でつなぐことを目的に、昨年11月にキックオフされた同研究所から、野菜で健康推進部会を擁するJAH1に対して、セミナー共催の要請があり、検討が進められています。

4. その他

- (1) 昭和女子大学への寄附講座は、第10講ペットの新たな可能性（越村義雄理事）、第11講セルフメディケーションと医薬品・サプリメント（堀美智子理事）、第12講政策と連動したサービス開発（スギ薬局・杉浦伸哉常務）と順調に進捗しています。
- (2) 今西会長対談シリーズは次回日機装・甲斐敏彦社長の予定です。（『月刊H&Bリテ』3月号掲載）